

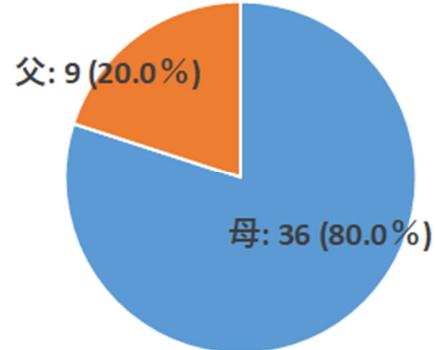
「龍田小学校に関するアンケート」の結果について

【アンケートの概要】

- 対象：現在、龍田小学校に子どもを通わせている保護者
- 目的：今後の龍田小学校のあり方を検討する際の参考とする
- 期間：令和7年7月17日（木）～8月24日（日）
- 方法：WEB及び紙による回答
- 回答数：45件（WEB42件、紙3件）
- 回答率：68.2%（PTA会員数66人に対する回答率）

【問1】お子様との関係を教えてください。

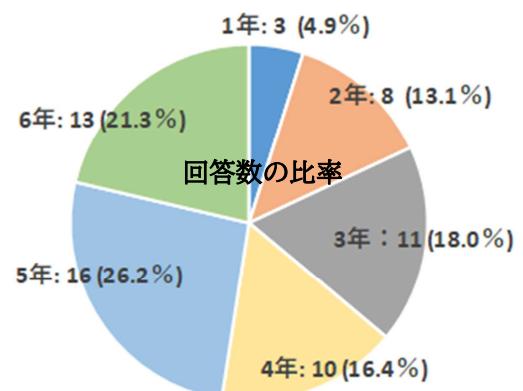
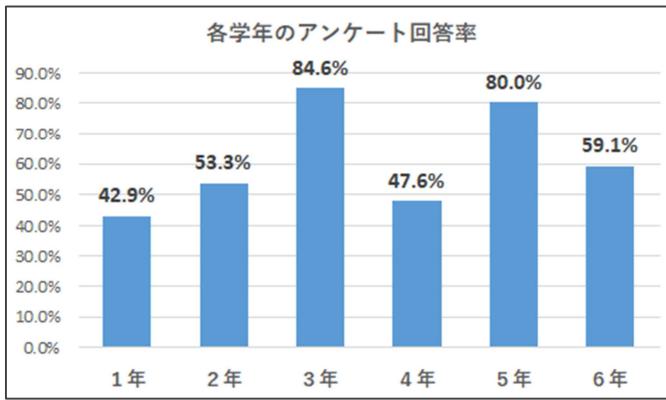
	母	父	計
回答数	36	9	45
割合	80.0%	20.0%	100.0%



アンケートに回答したのは、80%が母親であり、父親は20%であった。

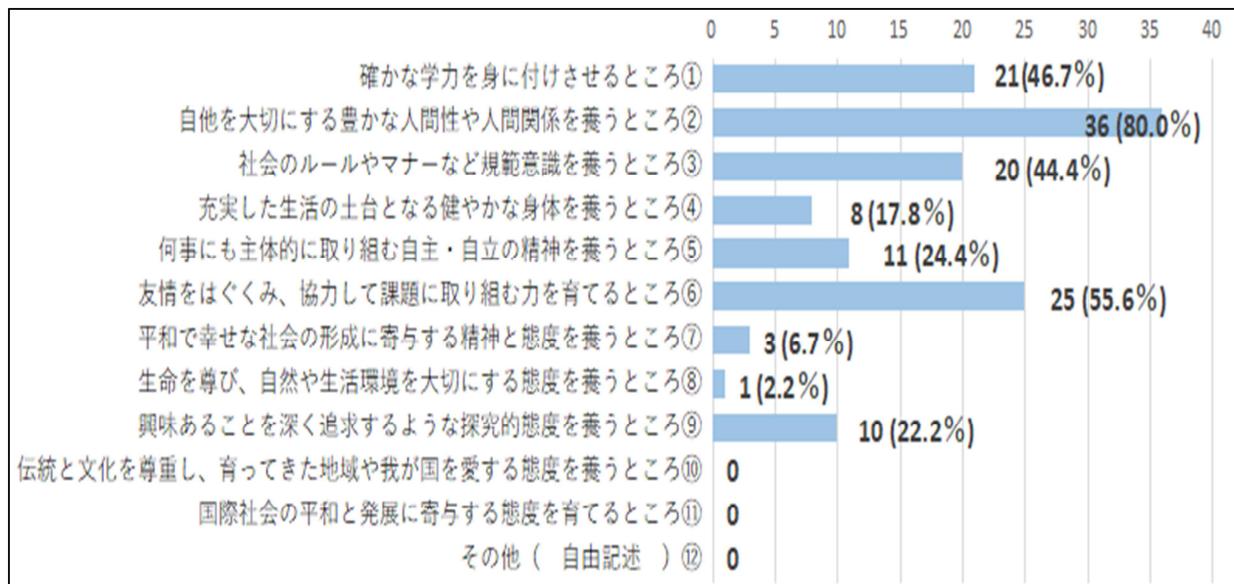
【問2】あなたのお子様の学年を教えてください。（きょうだいがおられる場合は、複数選択してください）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
回答数(R7児童数)	3(7)	8(15)	11(13)	10(21)	16(20)	13(22)
学年別回答率	42.9%	53.3%	84.6%	47.6%	80.0%	59.1%
回答者の比率	4.9%	13.1%	18.0%	16.4%	26.2%	21.3%



学年別の回答率を見ると、1年生 (42.9%)、4年生 (47.6%) の回答率が低く、共に 50% 以下であった。2年生 (53.3%) と 6年生 (59.1%) については、回答率が 50% を超えていたものの、回答した保護者は半分程度であった。一方で、3年生 (84.6%) と 5年生 (80.0%) については高い回答率であった。全体的に、回答者の傾向には偏りが見られた。

【問3】小学校ではどんな力を養うべきだと思いますか。特に「そうだ」と思うものを選択してください。(3つまで)

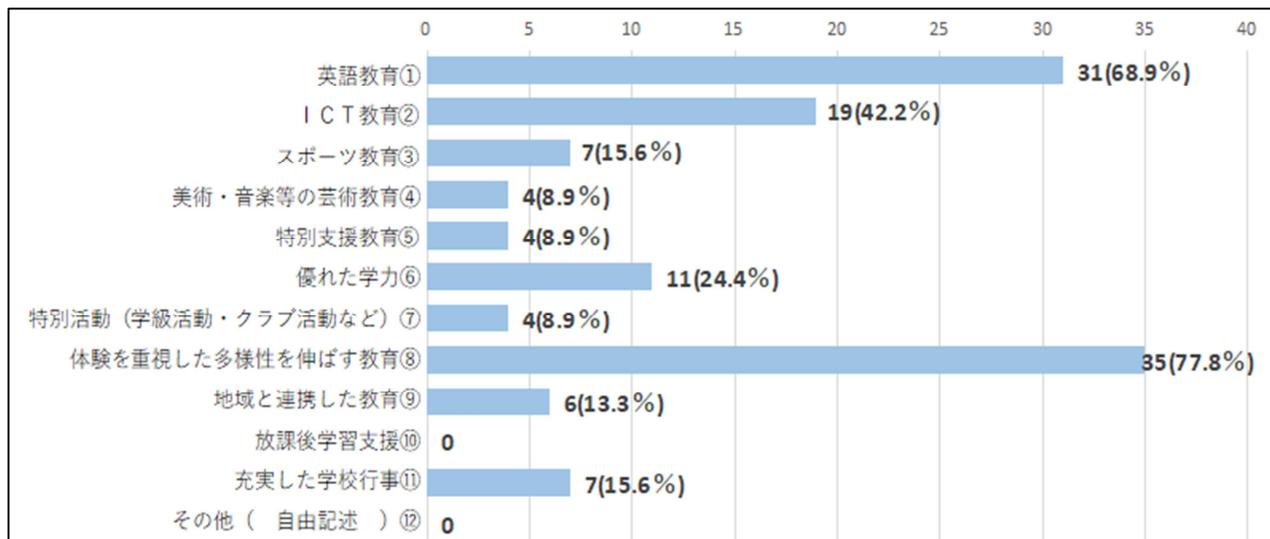


アンケートの結果より、最も重視されている力は、「自他を大切にする豊かな人間性や人間関係を養うところ」（36票）であり、80%の保護者がこの項目を選択した。学習だけでなく、他者との関わりの中で育まれる豊かな人間性やソーシャルスキルが、保護者にとって最も関心のあることであることが分かった。

次いで、「友情をはぐくみ、協力して課題に取り組む力を育てるところ」（25票）が多く、約半数（55.6%）の保護者が選択している。協調性を育むことの重要性を多くの保護者が感じていると言える。

さらに、「確かな学力を身に付けさせるところ」（21票）や「社会のルールやマナーなど規範意識を養うところ」（20票）も高い票数を集めており、基礎学力と社会性を両立して求める傾向も見られた。

【問4】学習面において、今後どんな教育に力を入れていくべきだと思いますか。特に「そうだ」と思うものを選択してください。(3つまで)



アンケート結果より、保護者の関心が特定の分野に集中していることが分かった。特に「体

験を重視した教育」「英語教育」は、学習面においてかなり重視されていることが分かった。

・「体験を重視した多様性を伸ばす教育」（35票）

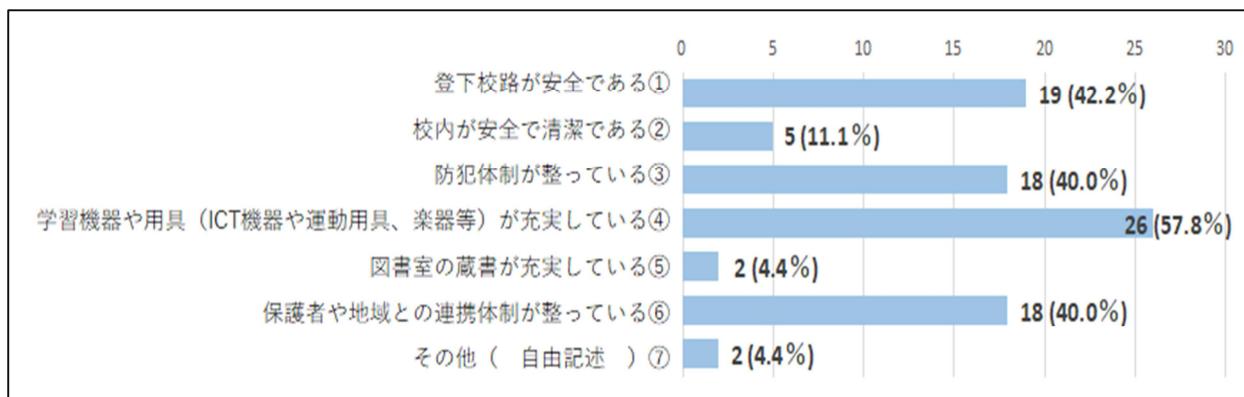
・「英語教育」（31票）

「ＩＣＴ教育」（19票）も比較的高い票数であり、情報社会に対応できる力を身につけることの重要性が認識されている。

「優れた学力」（11票）については、他の上位項目に比べて票数が少ない結果であった。

また、「特別支援教育」「芸術教育」「特別活動」「地域連携」などの項目は票数が少なかった。学校教育全体においては重要であるものの、多くの保護者の関心は、「英語」「ＩＣＴ」「多様性」に集まっていた。

【問5】設備や教育環境の面で、今後どんなことに力を入れるべきだと思いますか。特に「そうだ」と思うものを選択してください。（2つまで）



アンケート結果より、龍田小学校の保護者が子どもの安全確保と学習環境の充実に高い関心を持っていることが分かった。

最も多くの票を集めた項目は、「学習機器や用具（ＩＣＴ機器や運動用具、楽器等）が充実している」（26票）であり、次いで「登下校路が安全である」（19票）、「防犯体制が整っている」（18票）といった子どもの安全確保に関するものであった。

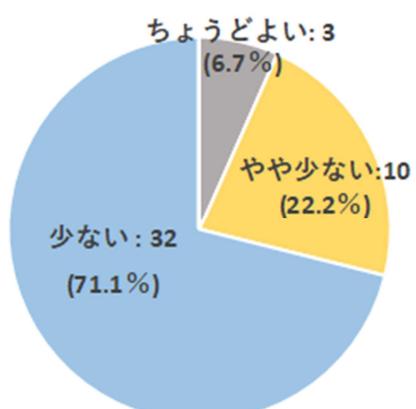
一方、「保護者や地域との連携体制」（18票）も高い票数を獲得した。

【問6】現在、お子さんが通う学校（龍田小学校）の児童数についてどのように思いますか。

	多い	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少ない	その他
回答数	0	0	3	10	32	0
割合	0.0%	0.0%	6.7%	22.2%	71.1%	0.0%

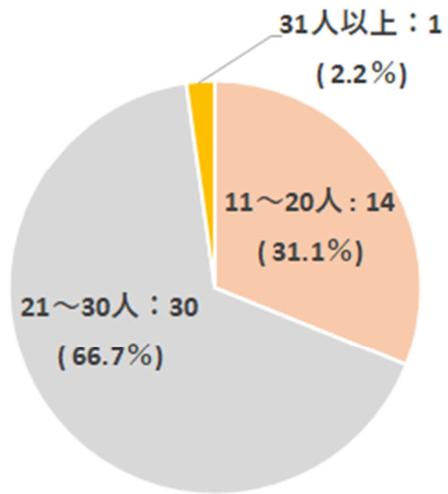
アンケート結果より、現在の児童数を「少ない」（32票）と感じている保護者が圧倒的に多かった。次いで「やや少ない」（10票）が多くの票を集めました。

「ちょうどよい」という回答はわずか3票であり、「多い」「やや多い」という回答は0票であった。



【問7】1学級あたりの児童数は何人くらいが適当だと思いますか。

	1~10人	11~20人	21~30人	31人以上
回答数	0	14	30	1
割合	0.0%	31.1%	66.7%	2.2%



アンケート結果より、龍田小学校の保護者の約7割（3人に2人）は「21~30人」を適正な人数と考えている。この人数は、現在の4年生（21人）、5年生（20人）、6年生（22人）の学級規模（交流含む）に近く、これらの保護者にとっては理想に近い状態と言える。

「11~20人」と回答した保護者も14人（31.1%）と少なくない。現在の2年生（15人）、3年生（13人）の学級規模（交流含む）は、この「少人数」を希望する保護者のニーズに応えられている状態である。

「31人以上」と回答した保護者は1人だけであり、「0~10人」と回答した保護者は0人であった。

【問8】龍田小学校の魅力はどんなところだと思いますか。

・回答数：37

アンケートの結果、龍田小学校の保護者は、以下の3点を龍田小学校の魅力として感じている声が多かった。

（1）少人数のメリット

回答の過半数が「少人数」に言及しており、これを最大の魅力として感じている意見が多くかった。「先生の目が行き届く」「手厚い指導」「個々に応じた対応」「小回りが効く」といった具体的なメリットも挙げられた。

（2）子ども同士の仲の良さ

「仲が良い」「団結力がある」「仲間意識が強い」といった児童同士の仲の良さを魅力として感じている声が多かった。さらに、「全校生徒みんな仲がいい」「学年、男女関係なく…」「全学年が分け隔てなく…」といった、学年や年齢、性別を越えた交流や仲の良さ多くの人が魅力として感じている。

（3）つながりとアットホームな環境

「アットホームで温かい環境」「先生と生徒の距離が近い」「人と人のつながりが強い」といった回答も少なくない。学校全体に温かい雰囲気があり、先生、児童、保護者が密接に関わっていることを魅力と感じている人もいる。

【問9】改善すればもっと良くなると思うことはありますか。

・回答数：20 【うち「特になし」：1】

アンケートの結果、以下の4点に関わる意見が多かった。

(1) 児童数・学校規模

最も多くの意見が寄せられたのが、児童数の少なさに関する内容であり、以下のような記述があった。

- ・生徒が少なすぎる
- ・少人数の下校に不安を感じる（特に低学年）
- ・他校との交流で視野を広げる
- ・児童数の少なさで生じる不利益がないようにして欲しい
- ・他地区からの通学が可能になれば良いと思う
- ・調整区域の解除

(2) 学校運営・指導内容

教育の質や学校の運営方法に関する意見も複数見られた。

- ・時代に応じた教育内容、教育方法を取り入れる
- ・先生はもっと厳しくてもいいと思う
- ・目に余る態度は指導して頂けたらいいと思っている

(3) 地域連携・保護者の関わり

学校と地域、そして保護者との関係性についての意見も複数見られた。

- ・「地域と連携をとる」「地域を巻き込んだ取り組み」
- ・もっと保護者が学校行事に関われば良いと思う

(4) 校内設備・防犯・PTA

少数ながら、校内設備の改善や、誰でも校舎に入れるような防犯体制への懸念も示されていた。また、PTA活動の廃止を求める声もあった。

【問10】龍田小学校の今後のあり方について検討する際、配慮した方がよいと思うことがあればお書きください。

・回答数：20 【うち「なし」：1】

アンケートの結果、以下の4点に関わる意見が多かった。

(1) 児童数の確保と学校の存続

多く寄せられたのは、児童数の少なさに対する記述と、その解決策に関する意見であった。

- ・1クラス最低でも20人以上いないと行事が成り立たなくなるし、人間関係においても経験不足になります。(中略) クラス人数が1桁は限界であると感じます。
- ・子どもが少なくなっていくにつれ、登下校、特に下校時一人になる地区が多くなってきているので、その安全性について(不安です)。
- ・学区外からでも通えるようにしないと人数が少なすぎて存続できるのか不安です。
- ・年々人も少なくなっていて競うことがなくなっているので合併すればいいと思う。
- ・調整区域を解除してほしい。

(2) 教育内容と指導のあり方

学校の教育方針や、それが子どもに与える影響についての意見も見られた。

- ・他の大人数の学校では出来ないような体験、授業、行事ができればいいなと思います。
- ・服装・ルール・宿題量、小学校で緩かった所が中学校で一気に厳しくなる。特に宿題量はかなり増えた印象を受ける。そのギャップに悩んでしまう事を踏まえ、宿題を減らし過ぎるのもいかがなものかと思う。(抜粋)
- ・児童数を増やすとなると、必然的に指導者数も増やさないといけないが、そこが後手にまわらないようにして欲しい。(抜粋)

(3) P T A活動と保護者の負担

保護者の負担に関する意見も一定数あった。

- ・少人数である事は良い所もあると思いますが、親のP T Aの用事等が多いように感じます。(P T A会員数も少ないため)他の小学校に比べて負担に感じる所かと思います。
- ・今後のP T Aのあり方を考えてもらいたい。

(4) 学校運営と情報の共有/反映

学校の運営方針や保護者への情報提供に関する意見も挙げられた。

- ・地域や保護者等の意見を聞きつつも、(中略)学校としてのポリシーをしっかりと突き通していただければと思います。
- ・地域の力は必要ですが、学校主体が大切かと思います。
- ・説明会など、事前の情報共有を充実させて欲しい(現学年への対応はどうなるのか、支援学級はどのようにしていくのか等々)
- ・当事者である家庭の意見を反映させて欲しい